

重点評価 |

■ 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1 総合評価の結果

建物名称	(仮称)藤沢市桐原町物流センター新築工事			
BEE(建築物の環境効率)	1.6	BEEランク	A	★★★★★

2 重点項目への取組み度

重点項目	評価	劣る → よい				
		100%超	80%超	60%超	30%超	30%以下
地球温暖化への配慮 (ライフサイクルCO ₂)	LCCO ₂ 排出率 77%	Y × 1	Y × 2	Y × 3	Y × 4	Y × 5
ヒートアイランド現象の緩和	スコア 3.0	Y × 1	Y × 2	Y × 3	Y × 4	Y × 5

3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア (5点満点 平均スコア=3点)

評価のポイント	レベル	評価のポイント
地球温暖化への配慮	3.9	標準計算によるLCCO ₂ (ライフサイクルCO ₂)排出率を評価
建設	LR2/2.1 材料使用量の削減	2
	LR2/2.2 既存建築躯体等の継続使用	3
	LR2/2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	3
運用	Q1/2.1.2 外皮性能	-
	LR1/1 建物の熱負荷抑制	-
	LR1/2 自然エネルギー利用	3
	LR1/3 設備システムの高効率化	5
	LR1/4 効率的運用	3
修繕 更新 解体	Q2/2.2.1 躯体材料の耐用年数	3

評価のポイント	レベル	評価のポイント
ヒートアイランド現象の緩和	3	窓まわり、外壁、屋根や床(特にピロティ)における室内への熱の侵入に対しての配慮の程度および庇やブラインド等の設置による日射遮蔽の程度を評価
Q3/3.2 敷地内温熱環境の向上	3	室内における「夏の暑さ」と「冬の寒さ」を防ぐための建物の基本性能として、断熱・気密機能を評価
LR3/2.2 温熱環境悪化の改善	3	自然エネルギーの直接利用(採光利用、通風利用、地熱利用など)、変換利用(太陽光、太陽熱など)の導入の有無、導入の割合を評価

評価のポイント	レベル	評価のポイント
関連項目	4	節水への取組み度合いを評価
LR2/1.1 節水	2	生物環境の保全と創出に関する配慮(立地特性の把握と計画方針の設定、生物資源の保全、緑の量・質の確保、生物環境の管理と利用など)を評価

再生可能エネルギーの導入状況	主な指標および効果
種類	種類
太陽光	太陽熱
定格出力	風力

: 入力欄

: CASBEE-建築(新築)の採点結果から転記してください。